2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.3

MOTEGI GT 250Km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



VELOREX

RACING WITH FERRARI

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.3

MOTEGI GT 250Km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

■大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 3 MOTEGI GT 250Km RACE

■開 催 日：2026年11月7日（土）公式予選/決勝

■会　場：モビリティリゾートもてぎ　レーシングコース（1周：4.801km）
　　所在地：栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1

■同日開催： 2026年FIA-F4選手権シリーズ第13戦

■主　催：株式会社ＧＴアソシエイション / エムオースポーツクラブ（M.O.S.C.） /
　　ホンダモビリティランド株式会社

■公　認：国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

■認　定：株式会社GTアソシエイション（GTA）

■後　援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/茂木町





VELOREX

RACING WITH FERRARI

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山　義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日	1993年11月13日
出身地	愛知県
身長	168cm
体重	69.3kg
血液型	RH+O



ニクラス　クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日	2002年10月20日
出身地	ドイツ
身長	180cm
体重	78kg
血液型	RH+A

■ チーム体制

チーム名：	VELOREX
車両名：	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー：	6
タイヤ：	横浜ゴム株式会社
ドライバー：	片山 義章　／ニクラス・クルッテン
エントラント代表：	片山 義章
チーム監督：	小倉 啓悟
広報兼マネージャー：	塩田 裕子
レースアンバサダー：	YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN) ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA



ゆづ

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.3

MOTEGI GT 250Km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆予　選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	15℃（GT300クラス予選開始時）
路面温度	18℃（GT300クラス予選開始時）
予選開始	９時00分（GT300クラス予選開始）





オーバーステアに苦しみながら、ニクラス・クルッテンが予選20番手と厳しいスタート。

VELOREXは、グランドファイナルもてぎ大会に向けて万全の準備を進めてきた。本大会は第3戦マレーシア大会の代替戦として、金曜日に公式練習、土曜日に第3戦予選・決勝、日曜日に第8戦予選・決勝という変則スケジュールとなっている。各レースとも250kmレースとされ、タイヤ交換の義務はない。また予選は通常のようにＡ、Ｂ組には分けられず、GT300クラスは20分間、GT500クラスは15分間での予選フォーマットが採用される。予選はひとりのドライバーが担当し、第3戦、第8戦で別のドライバーが走る必要は無い。

スーパーＧＴは来年からタイヤがワンメイクとなるため、VELOREXにとって、ヨコハマタイヤとは最後のレースであり、共に勝利を狙う最後のチャンスでもある。マルチメイク・タイヤでの最後のレースはタイヤメーカーによるタイヤ特性の違いによって、タイヤ交換の戦略や、ピット作業時間の短縮も重要なファクターとなる。

今シーズンのSUPER GTは、通常のフォーマットでの予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組に分けられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。

またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より５ポイント増となった。それにより、これまでにも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。
GT300クラスは高得点順に８戦の合計でタイトルが決定される。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI
予選結果：20位（ニクラス選手：1分46秒956）

快晴に恵まれたモビリティリゾートもてぎでのSUPER GT第３戦は、金曜日に公式練習が行なわれ、VELOREXのふたりはマシンの順調な仕上がりを感じていたが、タイム的には１分48秒034で14番手と、いまひとつの状況となっていた。土曜日の第3戦は、実質的な第7戦であり、ポイント1点に対して1kgのサクセスウェイトとなるハーフウェイト制が採用されVELOREXのフェラーリ296GT３・EVOには26kgのウェイトが搭載される。日曜日の第8戦は最終戦であり、ウェイトハンディはゼロとなる。午前９時からスタートする第3戦公式予選はニクラスが担当。朝のもてぎは路面温度が前日よりも低く、タイヤの発熱が思うようにいかず、特にリヤのグリップ不足を無線で訴える。それでも予定より1周多くアタックを継続し、6周目に1分46秒956をマーク。6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは決勝20番手グリッドからのスタートとなった。

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.3

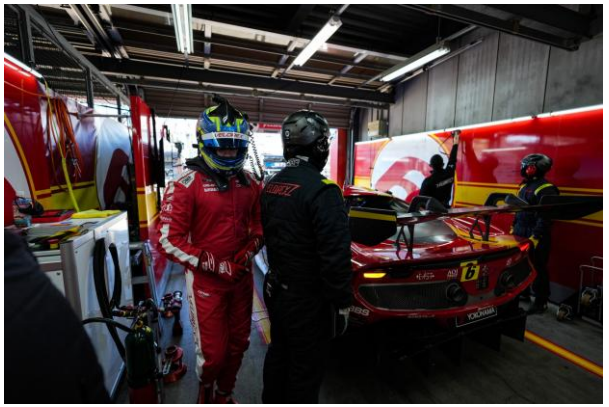
MOTEGI GT 250Km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆決　勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	19℃（スタート時）
路面温度	22℃（スタート時）
決勝レース開始	14時00分 （正式スタート時刻　14時06分02秒）
レース予定走行距離	250km　53周 （正式フィニッシュ時刻　15時44分22秒）





20番手からチーム初のタイヤ無交換作戦で11番手までジャンプアップしてチェッカー。
上位陣の失格で、最終結果は10位完走、６ポイントをゲット！

11月7日の第3戦は快晴。やや肌寒さを感じさせる秋のモビリティリゾートもてぎでのダブルヘッダー初日は、予選、決勝のワンデーレースを楽しもうと２万4000人のファンが集った。午後２時スタートの決勝レースは、セーフティカーに先導された２周のフォーメーションラップに続き250kmレースの幕が上がった。6号車UNI-ROBO　BLUEGRASS　FERRARIは片山がステアリングを握って20番手からスタートし、スタート直後の第３コーナーでの混乱で、軽く接触されつつも巧みにアクシデントをかわして大きくジャンプアップ。1周目のコントロールラインを13番手で戻ってきた。アクシデント車両の回収のため、FCYからセーフティカーが出され、レースは8周目から再開。幸いマシンにダメージが無かった片山はハイペースで追い上げを開始した。攻めのレースを展開する片山は、17周目に11番手まで追い上げ、早めのピットイン。チームとしては初めてとなるタイヤ無交換戦略を実行し、ニクラスが16番手でレースに復帰した。

抜きどころが少ないモビリティリゾートもてぎにもかかわらず、タイヤが温まっている状態のニクラスは、アグレッシブな攻めの走りを披露。前をいくマシンを1台、また1台とパスし、着実にポジションをアップしていく。ライバルたちに比べてストレート速度が伸びない厳しい状況ではあるものの、コーナーリングとブレーキングでタイムを稼ぐ走りで、ニクラスはコンスタントに周回を重ねていく。24周目に15番手、33周目に13番手、そして35周目に12番手に浮上すると、ラストスパートを見せて37周目には11番手まで浮上。あと少してトップ10フィニッシュとなる11位でチェッカーを受けた。

レース後の再車検で上位のマシンが失格となり、VELOREXは10位入賞。６ポイントを加算することに成功した。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手＆ニクラス選手）　　決勝結果：10位

VELOREX

RACING WITH FERRARI

◆コメント



片山　義章　選手のコメント

公式練習の段階では大きなトラブルも無く、マシンのバランスも悪くはなかったのですが、気温や路面温度の変化にマシンをアジャストしきれなかったのかも知れません。予選はニクラスがアタッカーでコースインしたのですが、タイヤが発熱せずにオーバーステアがひどく、なんとか連続アタックでタイムを出しましたが20番手という予期せぬ結果でした。それでもチームがウォームアップまでに大きくセットアップを変更してくれて、まずまずのバランスを取り戻せたので、自分がスターティングドライバーとして気合を入れて臨みました。幸いスタート直後のアクシデントを避けることができ、1周目はうまく７ポジションアップで戻ってくることができました。タイヤ無交換で行くと決めていたので、タイヤを温存しながらニクラスに交代し、彼が素晴らしい走りを見せてくれたおかげで、10位入賞が果たせました。明日の最終戦は今日のデータを参考に、攻めのレースで勝ちに行きます。



ニクラス・クルッテン選手のコメント

今回のレースはワンデーレースということで、公式練習が金曜日に行なわれました。その時のコンディションと土曜日の予選でのコンディションが異なっていたせいか、予選の走り出しからマシンのセットアップがいまひとつで、厳しい戦いとなってしまいました。それでもチームは短い時間の中で、決勝に向けて素晴らしいマシンを用意してくれました。予選とはまるで違うマシンに仕上がっており、自信を持ってバトルができるマシンでした。

決勝レースは片山選手が1周目のアクシデントをうまくかわし、大きくジャンプアップしてくれたのが大きかったですね。あれでチームが勢いづいて、初のタイヤ無交換作戦もうまく決まったと思います。コースインした際に、タイミングが悪くポジションを落としてしまう場面もありましたが、タイヤが温まっていたのでしっかりリカバーできました。レース結果を見れば20番手から10位はベストな結果だったと思います。明日も頑張ります。



小倉　啓悟　監督コメント

今日の予選はタイヤの内圧なのか、セットアップが原因なのかは後ほど確認しますが、全然タイヤが温まらず、リヤのグリップが出ないままでしたので、予定より1周多くアタックしてタイムは出せましたが、20番手に沈んでしまいました。決勝までにできる限りのセットアップ変更をし、片山義章選手の走りに委ねました。スタート直後の混乱をうまくかわして、大きくジャンプアップしてくれましたし、タイヤ無交換作戦で行くことは決めていたので、タイヤも良いコンディションのまま戻ってきてくれました。交代したニクラス・クルッテン選手もピットアウト直後にポジションを落としてしまいましたが、すぐにリカバーし、追い上げてくれました。ふたりのドライバーが頑張ってくれましたし、チームもミスないピット作業でそれをサポートすることができました。予選結果からのリカバリーという意味では、チームが一丸となって頑張れた1日だったと思います。ありがとうございました。

UNI-ROBO

BLUEGRASS　WestCove　OIRC

ニチアス　TONE　KOHSHIN　zahren

MIDTOWN BBQ STEAK×SMOKEHOUSE　EVER CORPORATION　DOBOT

SEIHA　アート買取協会　カトー機械株式会社　オカダキンリク　ヒロデンタルクリニック

CLIMAX SOFT99 autoservice　KYO-EI INDUSTRIAL CORPORATION　ASAHI 朝日金属株式会社　PANASHOP　AOYAMA ELEVATOR

中部総合監査法人　SANDISK™　AOI TRUST CO.,LTD.　MAITY

H&F　KANETAKE　森吉物流グループ　JOTO DIRECT　愛知電線株式会社　見田工作　H&A

SASAHARA　EAST　Digi-Tec INTECNO　株式会社プロデュース　KOWA　TAISEIDOBOKU Co., Ltd

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛治島工業株式会社
株式会社モダン・プロ
株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田渕塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社